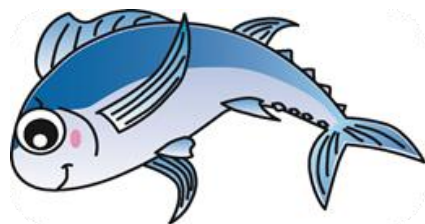


水産普及だより

第4号 平成28年7月31日発行 沖縄県水産海洋技術センター普及班
 沖縄県糸満市喜屋武1528 TEL098(852)4532



海ぶどう協議会 新体制へ(新会長 安里一月氏)

7月19日に恩納村コミュニティーセンターにて、第5回通常総会が開催されました。今年度より事務局を久米島海洋深層水開発(株)糸満営業所内に置き、新会長に安里一月氏を中心にした新体制のもと、今一度、設立当初の目的に立ち返り活動して行くこととなった。総会に合わせ、衛生環境研究所衛生生物班 久高潤 班長より「海ぶどうと食品衛生」、当センター井上顕 研究員より「海ブドウの生物学的特徴と養殖に関する水試の取り組み状況」について、情報提供が行われた。今後はブランド確立に向け品評会開催を計画中で、活発な協議会運営となるよう普及班一同支援していきたいと考えています。



平成28年度沖縄県漁業士会総会開催される

7/21水産会館にて、平成28年度沖縄県漁業士会総会が開催されました。議案審議は滞りなく終了し、30周年事業(H31年度)やJICA研修協力の今後の進め方について報告がありました。

情報提供では、当センター紫波普及員より「水産資源利用拡大事業の報告」、国の開発調査センターより本県で実施予定の「ケンサキ・トビイカ調査事業」および「音響装置を用いた小型歯鯨類の食害削減への取り組み」について発表して頂きました。



もうすぐ30周年!



トピック 新たな水産資源開発への取組

～沖縄水産資源利用拡大事業～



普及指導員 紫波俊介

漁業士

図南丸



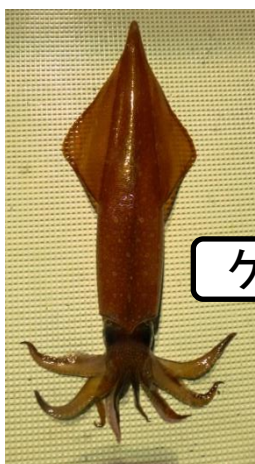
操業に集中!

安全確保!



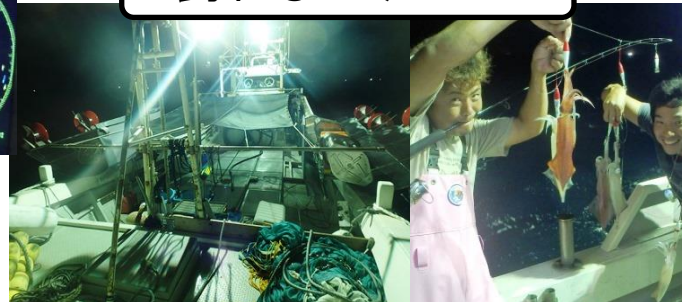
沖縄は東シナ海など広大な海を有してありますが、経費がかさみ、県外船等の危険も大きく、漁業者が単独で資源開発に挑戦するのは困難です。そのため、図南丸と漁業士が船団を組み安全に資源開発する事により、沖縄の海を、県漁船がきちんと利用できる海にすることを目的としています。

釣れる!けど...



ケンサキイカ

寿命1年、九州北部では高級食材



イカ釣り機・手釣りにて操業しましたが、釣り機26杯/台、手釣り94杯/人と、釣り機の漁獲向上が課題です

図南丸も!



安全確保の他、漁場観測・生物情報収集・保蔵試験等、漁業士を支援しました

図南乗船し協力

連携・助力頂く

課題は有りますが...



開発調査センター調査員、金城豊漁業士も調査協力



水研・各県・中型イカ釣船・無線協会・総合事務局等協力。有り難うございます

新たな水産業作り 支援続けたい!

今後もご指導お願い致します
 ※本結果を受け9・10月開発調査センター様がケンサキイカ・トビイカ調査を実施します!

新人紹介 仲盛 淳 普及指導員

このたび4月1日付で水技センター養殖班より普及班本部駐在へ異動してきました。先日、魚骨誤飲、食道を突き抜け気胸で入院。漁業士会北部支部総会、海ぶどう協議会総会共に参加できず。早速迷惑をかけてしまいました。これから挽回したいと思っております。 教訓：良く噛んで食べよう!

